

2026年3月期 第3四半期 決算ハイライト

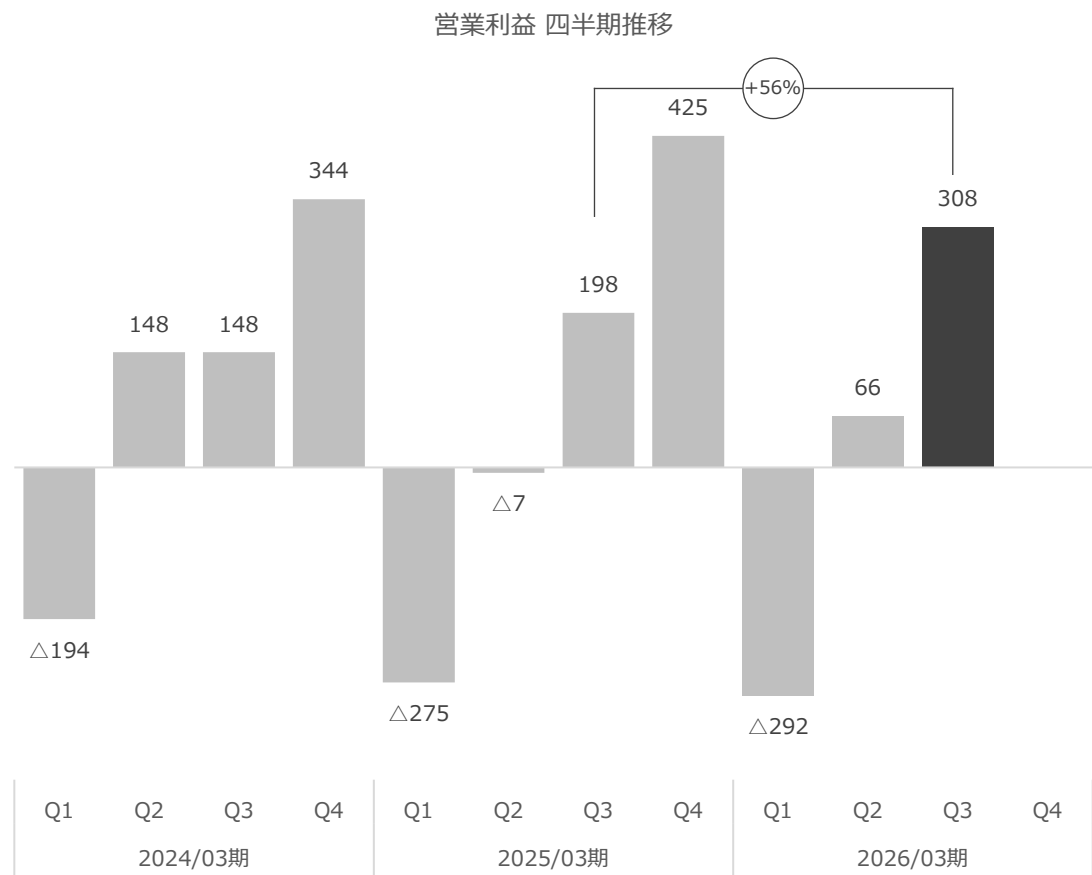
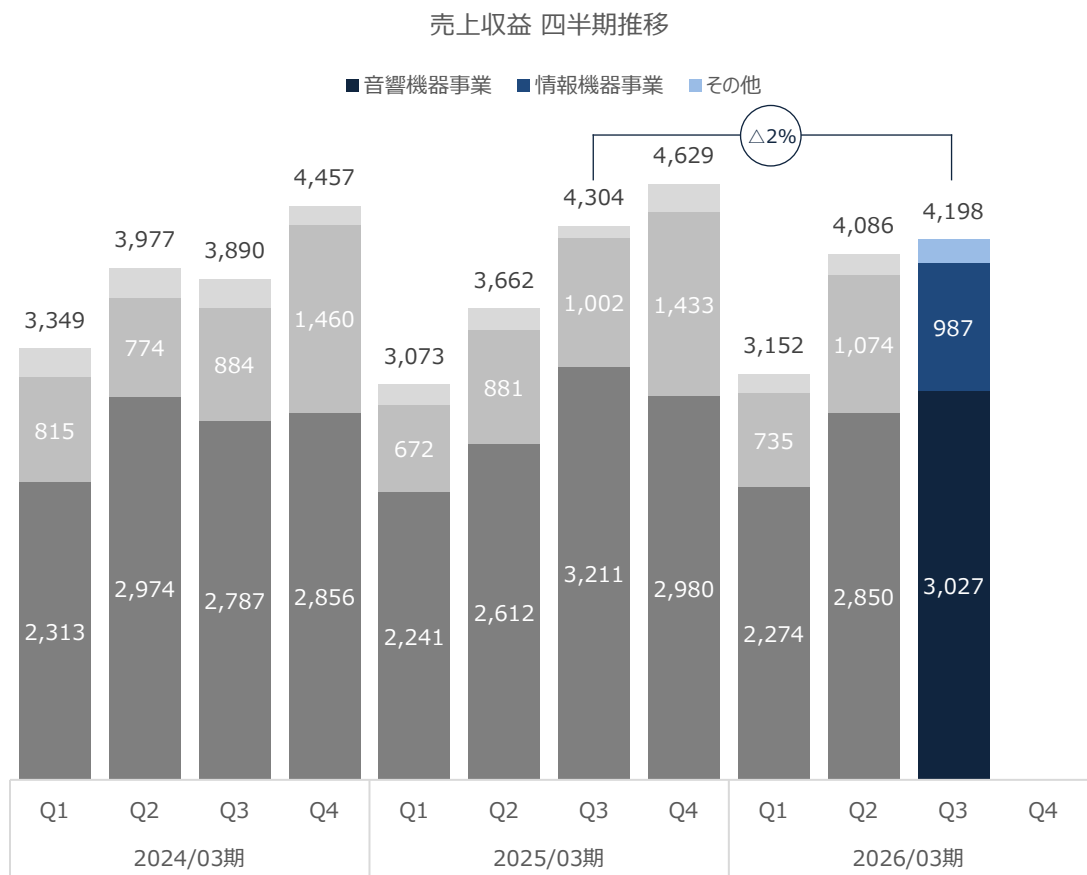
ティアック株式会社
<https://www.teac.co.jp/jp/>
証券コード：6803

2026年2月6日

■ 2026/03期 第3四半期累計は前年同期比増収・黒字転換

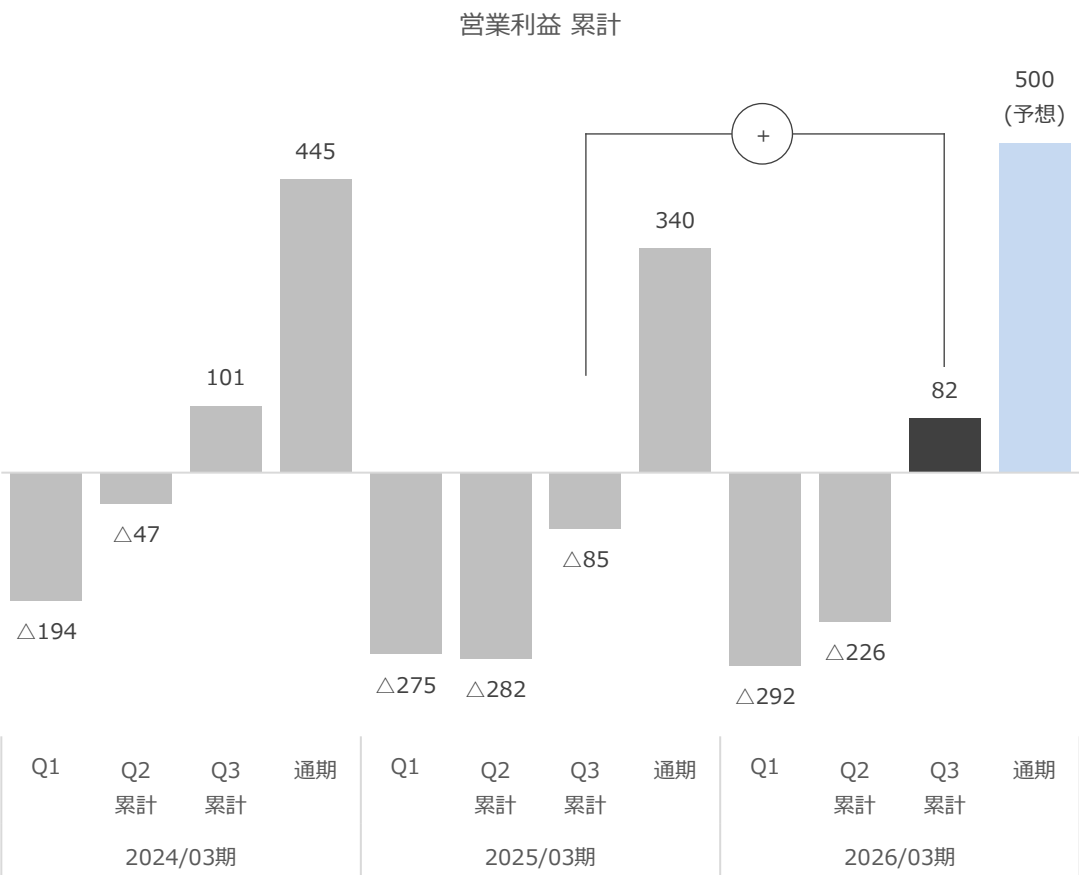
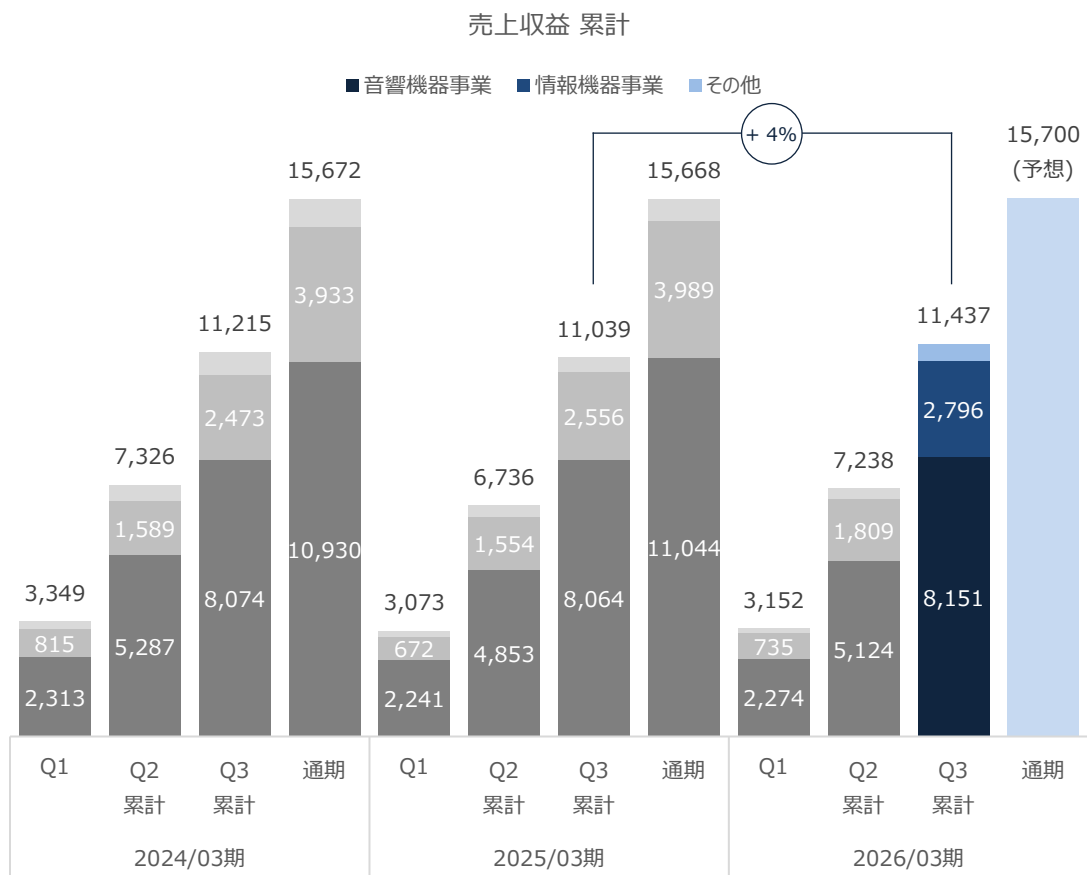
	2025/03期				2026/03期	前年同期比	(百万円)
	Q3累計	Q1	Q2	Q3	Q3累計		
売上収益	11,039	3,152	4,086	4,198	11,437	+ 397 (+ 3.6%)	・ 音響機器事業・情報機器事業ともに前年同期比増収
営業利益（△損失）	△ 85	△ 292	66	308	82	+ 167 (-)	・ Q2に構造改革費用58百万円を計上したものの、前年同期比で黒字転換
税引前利益（△損失）	△ 342	△ 280	39	309	68	+ 410 (-)	・ 為替差益91百万円が寄与し、前年同期比で黒字転換 - 詳細は「 金融収益（為替差益）の計上に関するお知らせ 」（2026年2月4日発表）をご参照ください
四半期利益（△損失）	△ 331	△ 264	62	298	96	+ 428 (-)	・ 前年同期比で黒字転換
資本合計	3,392				3,814	+ 422 (+ 12.4%)	・ 前年同期比増
1株当たり親会社 所有者帰属持分	117.76円				132.42円	+ 14.66円 (+ 12.4%)	・ 前年同期比増
自己資本比率	28.7%				33.8%	+ 5.1ppt	・ 前年同期比増
フリー キャッシュフロー	△ 227				203	+ 431	・ 前年同期比増

- Q3単独（10月-12月）売上収益は音響機器事業・情報機器事業ともに前年同期比減収
- 売上収益は減収ながら、①BtoB事業伸長による粗利率の改善、②構造改革後の固定費圧縮の進展、により営業利益は前年同期比56%増



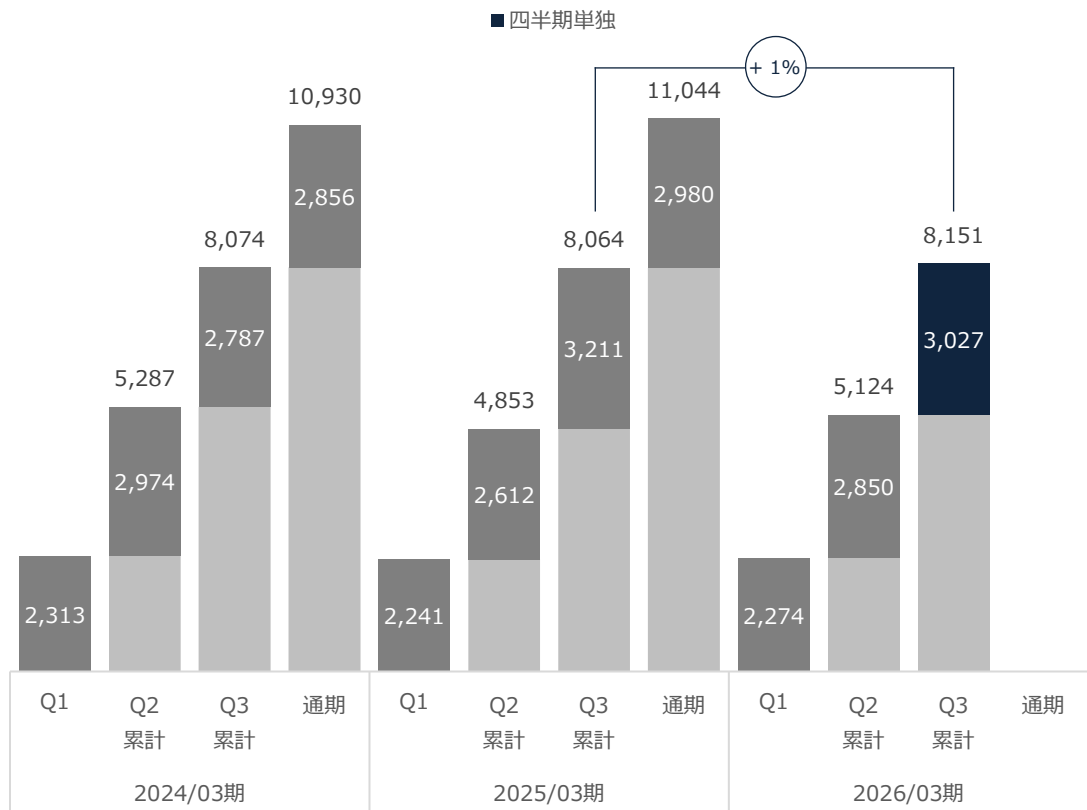
2026/03期 Q3累計 セグメント別業績

- Q3累計（4月-12月）売上収益は音響機器事業・情報機器事業ともに増収となり、前年同期比4%増
- 累計営業利益は、Q2に計上の構造改革費用をQ3の増益で吸収し、前年同期比で黒字転換

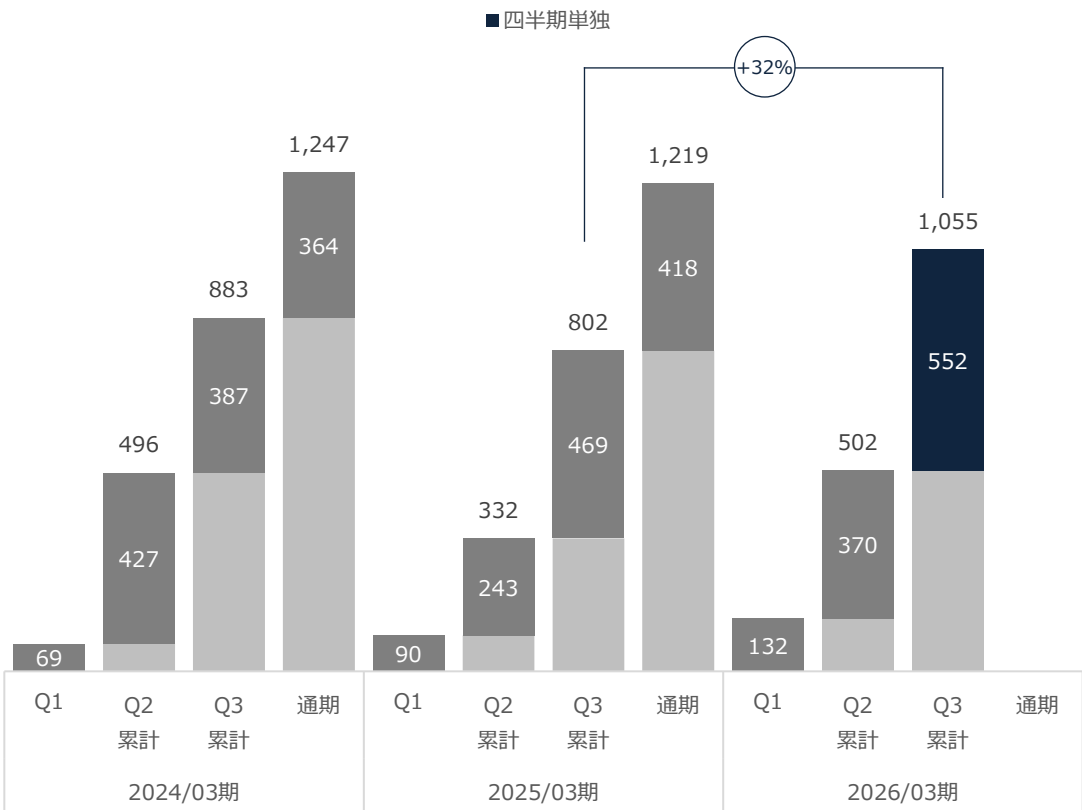


- プレミアムオーディオ機器（ESOTERIC、TEAC）は、ネットワークプレーヤーの好調をSACDプレーヤーの販売減と輸入品の供給不足が相殺し、減収
- 音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAM）は、安定した設備機器需要に加え提案営業の取り組み強化によりBtoB事業が堅調に推移し、増収

音響機器事業 売上収益 累計

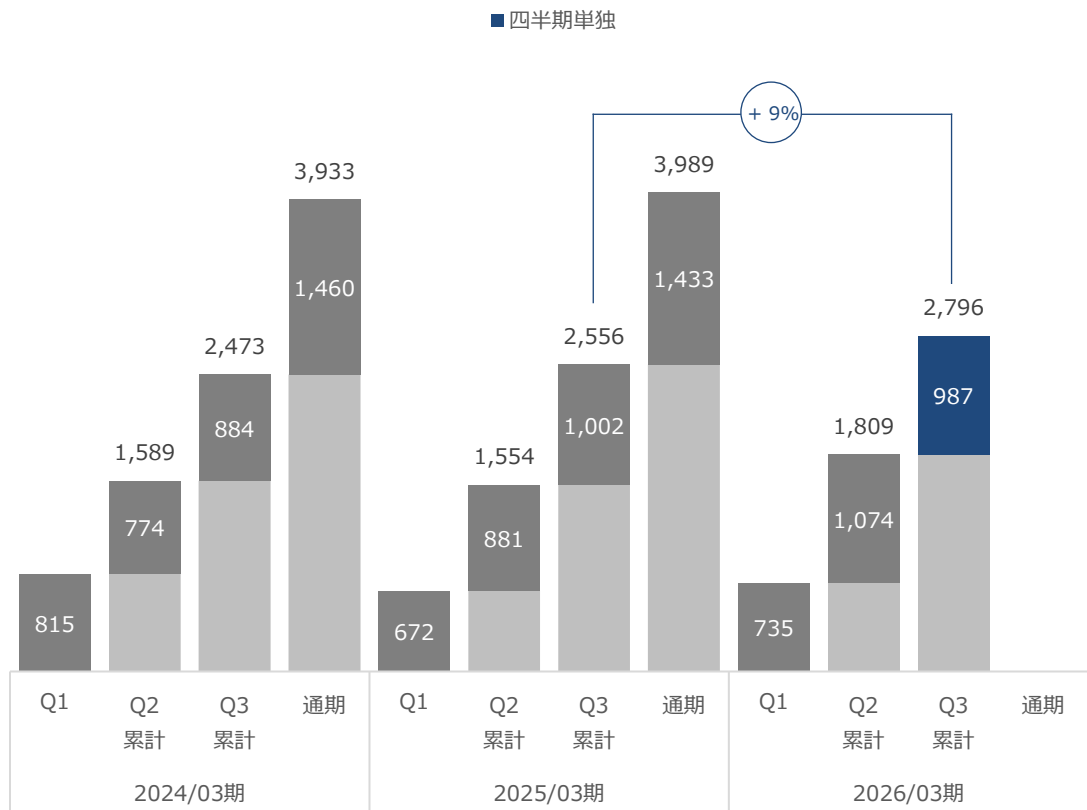


音響機器事業 セグメント利益 累計

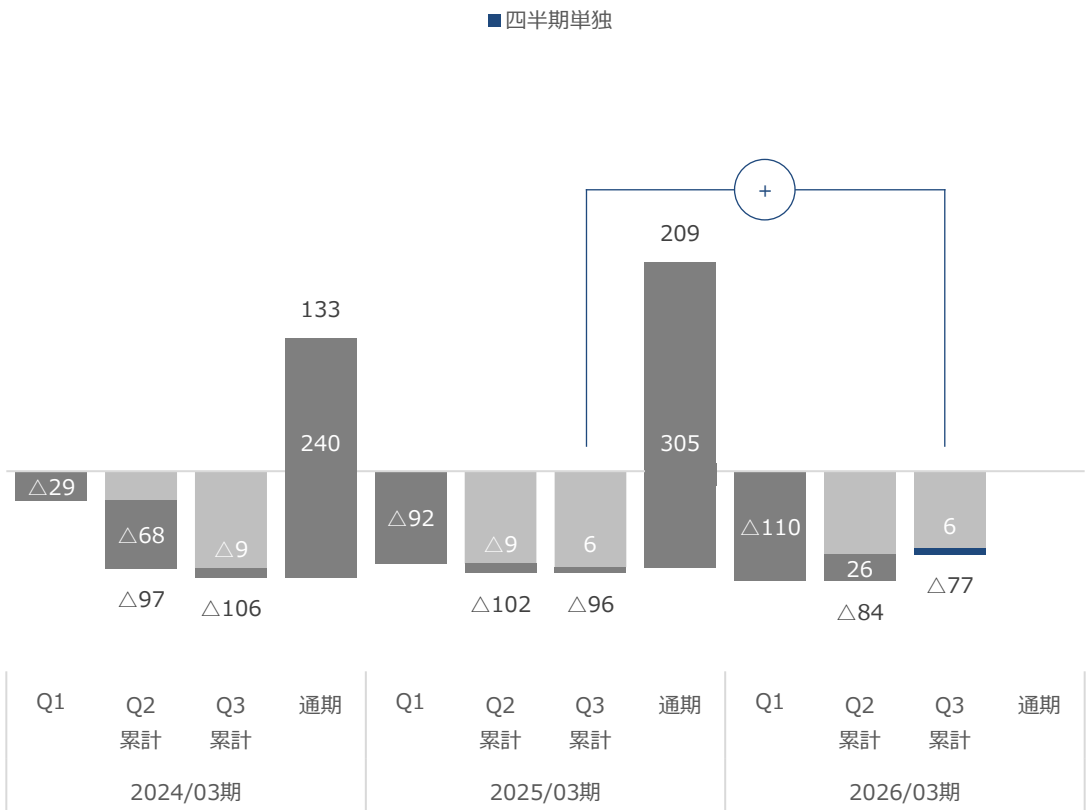


- 計測機器は、半導体製造装置メーカー各社の増産計画が進み当社引合も増加傾向だが、Q3時点では出荷数への影響はまだ限定的であり、減収
- 医用画像記録再生機器は、国内の好調に加えフラッグシップモデルの手術画像記録用4Kレコーダーの拡販が欧州およびアジア市場で大きく進み、増収
- 機内エンターテインメント機器は、国内エアラインによる採用は決定したものの保守サービスが落ち込み、減収

情報機器事業 売上収益 累計



情報機器事業 セグメント利益 累計

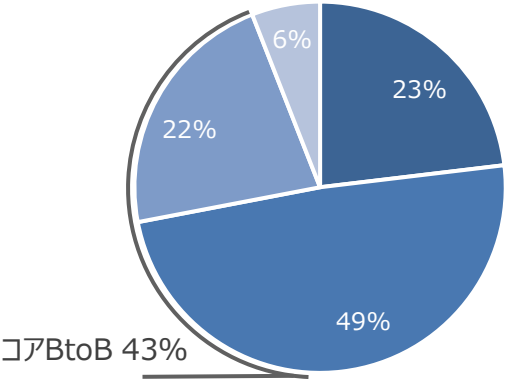


2026/03期 Q3累計 セグメント別・地域別構成比

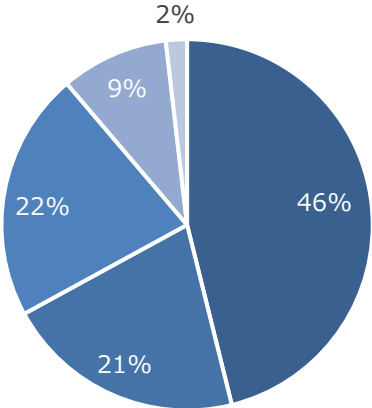
- BtoB事業は前年同期比14%の増収。業務用オーディオ機器および情報機器事業における医用画像記録再生機器とソリューションビジネスが好調に推移し、BtoB比率はQ2以降50%を維持
- 微減のアジアを除く全地域にて前年同期比増収の結果、構成比に大きな変動はなし

2024/03期 Q3累計 売上収益
11,215百万円

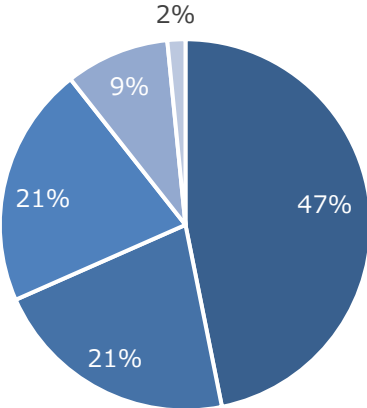
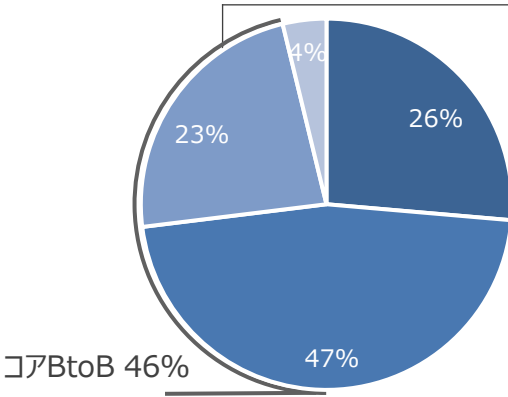
・ セグメント別



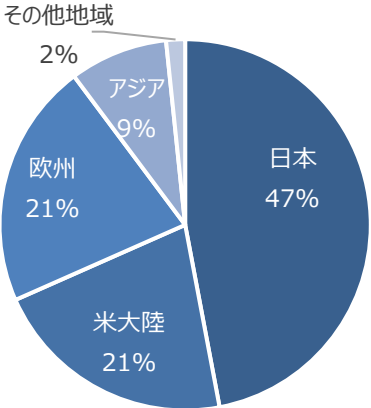
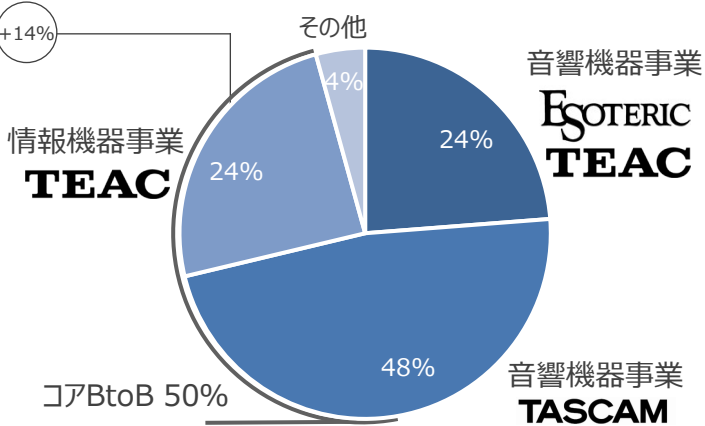
・ 地域別



2025/03期 Q3累計 売上収益
11,039百万円

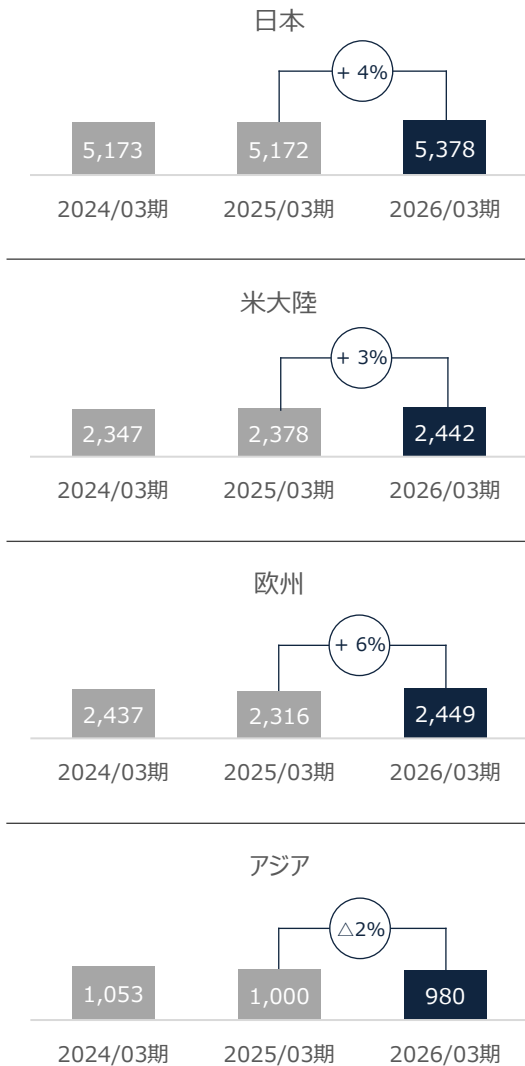
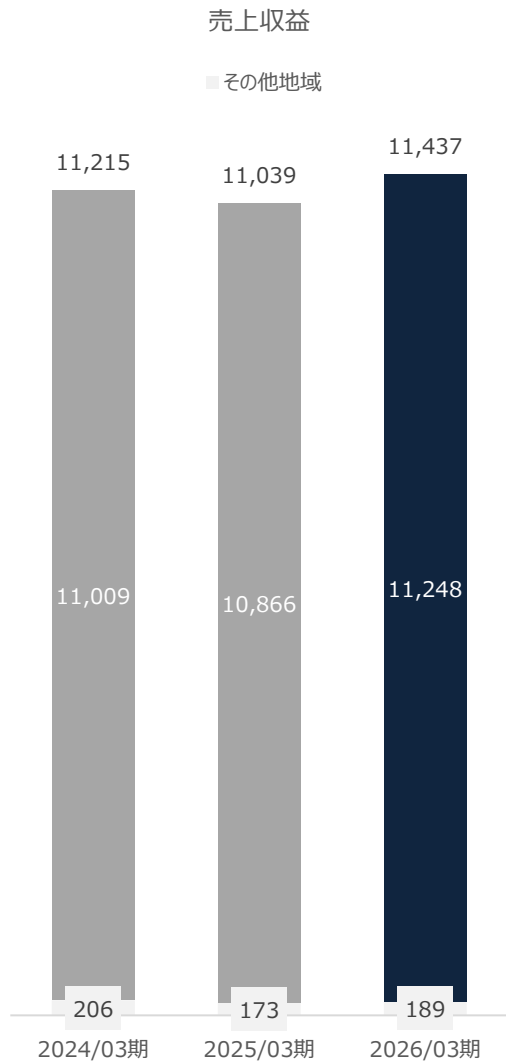


2026/03期 Q3累計 売上収益
11,437百万円



2026/03期 Q3累計 地域別業績

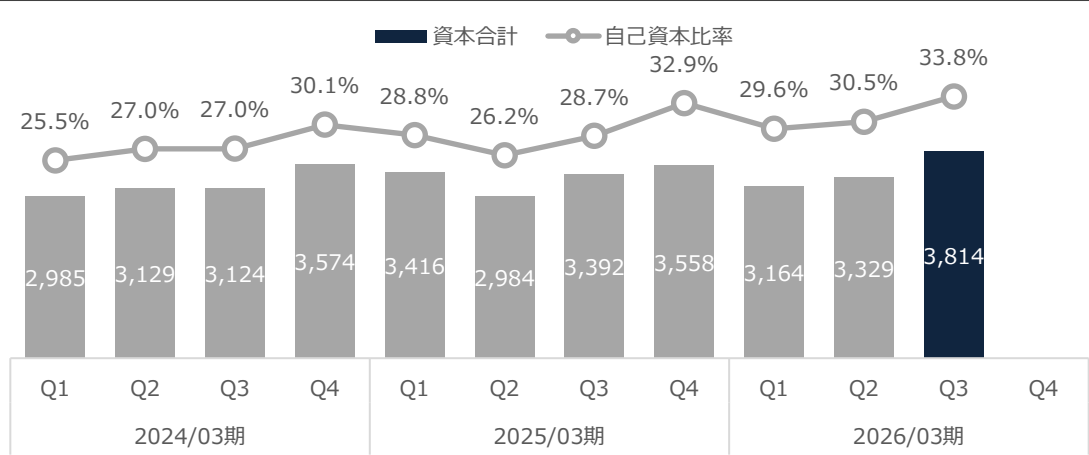
(百万円、+は前年同期比増収、△は同減収)



- 音響機器事業
 - + 業務用オーディオ機器 (TASCAM_ BtoB)
 - △ プレミアムオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (TASCAM_ BtoC)
 - 情報機器事業
 - + 機内エンターテインメント機器、ソリューションビジネス
 - △ 計測機器、医用画像記録再生機器
-
- 音響機器事業
 - + 業務用オーディオ機器 (TASCAM_ BtoB)
 - △ プレミアムオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (TASCAM_ BtoC)
 - 情報機器事業
 - + 計測機器、医用画像記録再生機器、機内エンターテインメント機器
-
- 音響機器事業
 - + プレミアムオーディオ機器、業務用オーディオ機器 (TASCAM_ BtoB)
 - △ 音楽制作用オーディオ機器 (TASCAM_ BtoC)
 - 情報機器事業
 - + 医用画像記録再生機器
 - △ 計測機器、機内エンターテインメント機器
-
- 音響機器事業
 - + 業務用オーディオ機器 (TASCAM_ BtoB)
 - △ プレミアムオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (TASCAM_ BtoC)
 - 情報機器事業
 - + 医用画像記録再生機器、機内エンターテインメント機器
 - △ 計測機器

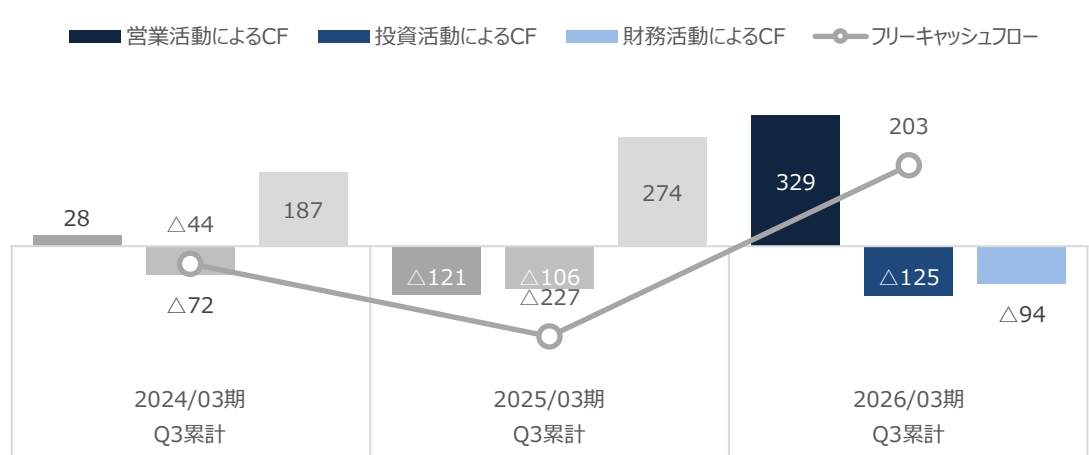
(百万円)

自己資本比率



- 資本合計：前年同期比+422百万円（+12.4%）増、前期末比+256百万円（+7.2%）増
- 自己資本比率：前年同期比+5.1ppt増、前期末比+0.9ppt増

フリーキャッシュフロー



- フリーキャッシュフロー：前年同期比+431百万円増の203百万円。営業キャッシュフローは前年同期比450百万円増の329百万円

■ 連結孫会社の清算に伴う利益が発生する一方、情報機器事業において一部大口案件の導入が先送りになった影響に加えて最新の為替相場の動向を考慮した結果、2025 年 5 月14 日公表の連結業績予想を修正

	2025/03期	2026/03期		増減額	前年比	(百万円)
		前回発表予想 (2025年5月14日)	修正予想 (2026年2月4日)			
売上収益	15,668	16,000	15,700	△ 300 (△ 1.9%)	+ 32 (+ 0.2%)	• 情報機器事業において一部大口案件の導入が先送りとなった為 下方修正
営業利益	340	350	500	+ 150 (+ 42.9%)	+ 160 (+ 47.0%)	• 連結孫会社の精算に伴う利益が発生し、上方修正 - 詳細は「 【開示事項の経過】連結孫会社の清算に伴う利益（個別開示項目）の計 上（国際会計基準）に関するお知らせ 」（2026年2月4日発表）をご参照ください
税引前利益	59	150	450	+ 300 (+ 200.0%)	+ 391 (+ 658.8%)	• 最新の為替相場の動向を考慮し、上方修正
当期利益	81	100	400	+ 300 (+ 300.0%)	+ 319 (+ 393.1%)	• 上方修正
資本合計	3,558	-	-		-	
1 株当たり親会社 所有者帰属持分	123.51円	-	-		-	
自己資本比率	32.9%	-	-		-	
フリー キャッシュフロー	1,064	-	-		-	

■ 音響機器事業 プレミアムオーディオ機器

- ESOTERIC、TEACともにネットワークオーディオの新製品が注目を集めました

ESOTERIC

新開発『Master Sound Discrete DAC G2』搭載のネットワークオーディオプレーヤー『Grandioso N1』を10月に上市し、Stereo Sound誌の最高賞となるGolden Sound賞を受賞しました。

Golden Sound賞は、その年に日本市場で発売された全カテゴリーのオーディオ製品の中から、価格、ジャンルに関係なく優れた製品に Grand Prix賞が贈られ、さらにその中から傑出した製品に送られるのがGolden Sound賞となります。今年は35製品がGrand Prixに選ばれ、そのうちの2製品がGolden Soundに選ばれました。



ネットワークプレーヤー/DAC
『Grandioso N1』

TEAC

Reference 500シリーズの新製品ネットワークトランスポート『NT-507T』を12月に上市し、本機と『UD-507』などのUSB DACを接続して構築されたネットワークオーディオシステムの音質が高い評価を受け、Stereo Sound誌主催ベストバイコンポーネントアワードでは「100万円未満のデジタルファイルプレーヤー1位」に選ばれました。

また、音元出版主催のVGP2026「審査員特別賞」、「ピュアオーディオ部会金賞」、「ライフスタイル部会金賞」と三つの賞を同時に受賞しました。



ネットワークトランスポート
『NT-507T』



審査員特別賞
ピュアオーディオ部会



金賞
ピュアオーディオ部会
ネットワークオーディオプレーヤー部門



金賞
ライフスタイル分科会
ネットワークオーディオプレーヤー部門

■ 音響機器事業 音楽制作・業務用オーディオ機器

- TASCAMデジタルミキサーラインナップに電源二重化モデルが登場『TASCAM Sonicview dp』シリーズを新発売

『TASCAM Sonicview』シリーズは高い音質と信頼性、直観的な操作性、さらには放送局の運用などに適したデジタルミキサーです。国内、欧州を中心に多数導入が進む中、世界中のプロフェッショナルユーザーからの要望に応え、DC INPUTを追加した電源二重化モデル『TASCAM Sonicview 24dp』および『TASCAM Sonicview 16dp』をラインナップに追加しました。

『TASCAM Sonicview dp』シリーズは、電源二重化対応により生放送スタジオや中継用途だけでなく、ライブサウンドの用途に至るまで、音声送出を中断することが許されない現場において従来以上に導入しやすい音声卓へと進化しました。

また、オプションカード『IF-ST2110』の搭載により、革新的にリーズナブルな価格でSMPTE ST 2110システムに対応可能な音声卓となる『TASCAM Sonicview』シリーズは、電源二重化対応によって、IPシステムにおいてもより活用を場を広げます。

- 音と映像と通信のプロフェッショナル展である『Inter BEE 2025』に出展し最新の音響ソリューションを提案

当社は2025年11月、幕張メッセで開催された「Inter BEE 2025」に出展しました。放送・ライブサウンド向けに、SMPTE ST 2110対応の小型音声卓『TASCAM Sonicview』シリーズを展示し、電源二重化モデル『TASCAM Sonicview 24dp』『16dp』を初披露しました。

放送・映像制作のデジタル変革とIP技術をテーマにした特設エリア「INTER BEE DX x IP PAVILION」において、IP接続技術による柔軟な運用を可能にする体験デモに技術協力しました。更には、設備音響向けにUSB DAC/FMチューナー搭載SD/USBプレーヤー『MP-800U』やBluetooth®オーディオレシーバー『RX-BT10』、動画・フィールドレコーディング向けにHDMI Sync対応4chフィールドレコーダー『FR-AV4』など新製品群を展示し、最新の音響ソリューションを幅広く提案しました。



■ 情報機器事業 医用画像記録再生機器

- ・ 新製品メディカルビデオレコーダー『MV-5』を発表（2026年4月出荷開始）

『MV-5』は、現行製品である「MV-1」で高い評価を得てきた内視鏡との連携機能を継承しつつ、セキュリティ機能を強化したMVシリーズの最新機種です。操作画面やUIを刷新し、直感的で使いやすい操作性を実現するとともに、外部タッチパネル対応により設置の自由度を高めました。画像や動画の記録・活用をより簡単かつ効率的に行えるよう設計されており、医療現場での情報管理や説明業務の負担軽減に貢献します。また、従来機種との操作性の親和性にも配慮しており、既存ユーザーが大きな変更なくスムーズに移行できる点も特長です。あわせて、内視鏡映像をDICOM形式で記録・転送可能なDICOMゲートウェイ『MV-5D』もラインナップしました。



メディカルビデオレコーダー『MV-5』



DICOMゲートウェイ『MV-5D』

財務データシート（IFRS）

		(百万円)	2024/03期					2025/03期					2026/03期				
			Q1	Q2	Q3	Q4		Q1	Q2	Q3	Q4		Q1	Q2	Q3	Q4	
貸借対照表	流動資産		9,027	8,930	8,969	9,286		9,302	8,914	9,414	8,568		8,515	8,691	9,053		
	現金及び現金同等物		1,553	1,086	1,369	1,227		1,487	1,347	1,291	1,552		1,854	1,464	1,701		
	営業債権及びその他の債権		2,671	2,938	2,603	3,517		2,480	2,433	2,903	3,108		2,334	2,855	2,825		
	棚卸資産		4,512	4,638	4,662	4,214		5,082	4,925	4,957	3,661		4,134	4,157	4,243		
	その他の流動資産		291	269	336	328		254	209	263	248		193	215	285		
	非流動資産		2,673	2,663	2,593	2,585		2,571	2,490	2,416	2,246		2,181	2,223	2,242		
	資産合計		11,700	11,594	11,562	11,871		11,874	11,404	11,831	10,815		10,696	10,914	11,295		
	流動負債		6,242	6,018	6,249	5,434		6,051	6,265	6,482	5,557		6,010	6,248	6,259		
	社債及び借入金		2,749	2,663	2,965	2,110		2,882	2,985	3,300	2,565		2,823	3,073	3,155		
	リース負債		519	357	359	367		389	380	386	373		349	346	328		
	営業債務及びその他の債務		1,615	1,566	1,571	1,504		1,476	1,412	1,311	1,024		1,425	1,336	1,331		
	その他の流動負債		1,358	1,432	1,354	1,454		1,304	1,488	1,485	1,596		1,413	1,493	1,444		
	非流動負債		2,474	2,446	2,189	2,862		2,406	2,155	1,957	1,700		1,522	1,337	1,222		
	社債及び借入金		977	829	690	1,478		1,142	1,007	926	797		714	579	497		
	リース負債		790	913	849	792		710	634	555	477		423	402	406		
	長期未払金		622	626	573	511		472	428	386	336		303	270	237		
	その他の非流動負債		86	79	78	81		82	86	90	91		82	85	82		
	負債合計		8,715	8,465	8,439	8,297		8,458	8,421	8,439	7,257		7,532	7,585	7,481		
	資本合計		2,985	3,129	3,124	3,574		3,416	2,984	3,392	3,558		3,164	3,329	3,814		
	親会社の所有者に帰属する持分合計		2,985	3,129	3,124	3,574		3,416	2,984	3,392	3,558		3,164	3,329	3,814		
	非支配持分		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0		
	負債及び資本合計		11,700	11,594	11,562	11,871		11,874	11,404	11,831	10,815		10,696	10,914	11,295		
	親会社所有者帰属持分比率		25.5%	27.0%	27.0%	30.1%		28.8%	26.2%	28.7%	32.9%		29.6%	30.5%	33.8%		
損益計算書	売上収益		3,349	3,977	3,890	4,457	15,672	3,073	3,662	4,304	4,629	15,668	3,152	4,086	4,198	11,437	
	音響機器事業		2,313	2,974	2,787	2,856	10,930	2,241	2,612	3,211	2,980	11,044	2,274	2,850	3,027	8,151	
	情報機器事業		815	774	884	1,460	3,933	672	881	1,002	1,433	3,989	735	1,074	987	2,796	
	その他		221	229	218	141	809	160	169	90	216	635	144	162	184	490	
	セグメント利益		75	385	384	584	1,427	13	251	455	731	1,450	11	385	555	951	
	音響機器事業		69	427	387	364	1,247	90	243	469	418	1,219	132	370	552	1,055	
	情報機器事業		△ 29	△ 68	△ 9	240	133	△ 92	△ 9	6	305	209	△ 110	26	6	△ 77	
	その他		35	26	6	△ 20	47	16	17	△ 20	8	21	△ 11	△ 12	△ 4	△ 26	
	個別開示項目前営業利益		△ 194	148	148	344	445	△ 275	△ 7	198	425	340	△ 292	124	308	140	
	個別開示項目		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 58	0	△ 58	
	営業利益		△ 194	148	148	344	445	△ 275	△ 7	198	425	340	△ 292	66	308	82	
	税引前利益		△ 389	32	179	183	5	△ 398	37	18	402	59	△ 280	39	309	68	
	親会社の所有者に帰属する当期利益		△ 400	32	181	134	△ 53	△ 393	49	13	412	81	△ 264	62	298	96	
	営業活動によるキャッシュフロー		△ 113	△ 98	239	88	116	0	104	△ 226	1,300	1,178	312	△ 347	363	329	
	投資活動によるキャッシュフロー		△ 36	△ 18	△ 17	△ 34	△ 106	△ 54	△ 31	△ 20	△ 9	△ 115	△ 24	△ 59	△ 42	△ 125	
	財務活動によるキャッシュフロー		446	△ 349	90	△ 256	△ 69	284	△ 134	124	△ 980	△ 706	9	18	△ 121	△ 94	
	フリーキャッシュフロー		△ 149	△ 116	222	54	10	△ 54	73	△ 247	1,291	1,064	288	△ 405	321	203	

この資料に記載されている記述のうち、将来見通しに関する記述は、当社の現時点での入手可能な情報に基づいている為、既知または未知のリスクおよびその他の不確定要因が内在しており、実際の業績はこれらの業績見通しと大幅に異なる可能性があります。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、主要市場（日本、北米、欧州、アジアなど）の経済状況・需要動向、同市場における貿易規制等各種規制、ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、部品・原材料の供給、物流網の安定性、急激な技術変化、などがありますが、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。